

関西言語学会

第31回大会プログラム

日時：2006年6月10日(土)・11日(日)

会場：甲南大学

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

阪急神戸線 岡本駅下車 徒歩10分

http://www.konan-u.ac.jp/frame/access_index.html

関西言語学会
(Kansai Linguistic Society)

事務局 〒560-0043 豊中市待兼山町 1-8

大阪大学言語文化研究科 由本陽子研究室内

<http://homepage2.nifty.com/KLS/KLSface.html>

会 場 案 内

甲南大学(〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1)

6月10日(土)

| | | |
|----|---------|---------------|
| | 受 付 | 1号館3階ホール |
| | 開 会 | 1号館3階 講義室 132 |
| | 休 憩 室 | 3号館3階 講義室 335 |
| | 書籍展示 | 3号館3階 講義室 337 |
| 午前 | ワークショップ | 1号館3階 |
| | A会場 | 講義室 131 |
| | B会場 | 講義室 132 |
| | C会場 | 講義室 133 |
| 午後 | 研究発表 I | 1号館3階 |
| | A会場 | 講義室 131 |
| | B会場 | 講義室 132 |
| | C会場 | 講義室 133 |
| | 研究発表 II | 1号館3階 講義室 132 |
| | シンポジウム | 1号館3階 講義室 133 |
| | 懇親会 | 甲南大学生協レストラン |

6月11日(日)

| | | |
|----|----------|---------------|
| | 受 付 | 1号館3階ホール |
| | 休 憩 室 | 3号館3階 講義室 335 |
| | 書籍展示 | 3号館3階 講義室 337 |
| 午前 | 研究発表 III | 1号館3階 |
| | A会場 | 講義室 131 |
| | B会場 | 講義室 132 |
| | C会場 | 講義室 133 |
| 午後 | 研究発表 IV | 1号館3階 |
| | A会場 | 講義室 131 |
| | B会場 | 講義室 132 |
| | C会場 | 講義室 133 |
| | 招待講演 | 1号館3階 講義室 132 |

第31回大会プログラム

第1日 6月10日(土)

受付開始 9:15 [1号館3階 ホール]

ワークショップ 10:00~12:00

A会場 [1号館3階 講義室131] 「アクセント研究の諸相」

司会 窪菌晴夫 (神戸大学)

発表 田中真一 (神戸女学院大学) 清水泰行 (関西学院大学大学院)
儀利古幹雄 (神戸大学大学院)

B会場 [1号館3階 講義室132] 「日本語構文研究への新アプローチ:「意味と形式」再考」

司会 黒田 航 ((独) 情報通信研究機構)

発表 中本敬子 (文教大学) 永田由香 (京都大学大学院)
李 在鎬 ((独) 情報通信研究機構)

C会場 [1号館3階 講義室133] 「「移動」の有無についての考察—様々な統語現象を題材に—」

司会 北尾泰幸 (愛知大学)

発表 内芝慎也 久米美帆 (神戸松蔭女子学院大学大学院) 三村仁彦

開会の辞 13:00 [1号館3階 講義室131] 関西言語学会会長 成田義光

研究発表 I 13:20~14:30
(1. 13:20~13:55 2. 13:55~14:30)

A会場 [1号館3階 講義室131]

司会 野田尚史 (大阪府立大学)

1. 「主観性/客観性」から見た日本語の授受構文について
—「話し手/主語指向性」、「受け手/与え手指向性」の観点から—
澤田 淳 (京都大学大学院)
2. 疑問詞と「かどうか」の共起を許す心理的要因について
森 貞 (福井工業高等専門学校)

B会場 [1号館3階 講義室132]

司会 松本 曜 (神戸大学)

1. 語義の関係性および語義の認識の程度に注目した多義ネットワークの構築: 図形○を材料として
寺西隆弘 (摂南大学非常勤)
2. On Blended Referents
安原和也 (京都大学大学院・日本学術振興会特別研究員)

C会場 [1号館3階 講義室133]

司会 上田 功 (大阪外国語大学)

1. 新造オノマトペを通して見る有声音・無声音の音象徴とその比喩性
—SD法による分析を中心に—
井上加寿子 (大阪大学大学院)
2. Reduplication and the Spread of Rendaku into Sino-Japanese
Timothy J. Vance (University of Arizona, Resident Director (2005-06) 甲南大学) [招聘]

研究発表Ⅱ 14:45～17:20 [1号館3階 講義室132]

(3. 14:45～15:20 4. 15:20～15:55 5. 16:10～16:45 6. 16:45～17:20)

司会 西光義弘 (神戸大学)

3. メタファー表現の形式とその効果—品詞の相違の観点から—
岩橋一樹 (大阪大学大学院)
4. メタファーの解釈における参与者役割のフレーム間相互照合
野澤 元 ((独) 情報通信研究機構)・横森大輔 (京都大学大学院)

司会: 山梨正明 (京都大学)

5. 並列型トートロジーの解釈スキーマ
酒井智宏 (日本学術振興会特別研究員)
6. トートロジーとカテゴリ再構成のダイナミズム
坂原 茂 (東京大学) [招聘]

シンポジウム 14:45～17:45 [1号館3階 講義室133]

Some Issues in Japanese Syntax

| | | |
|----|-------------|---------------------------------|
| 講師 | 越智正男 (大阪大学) | Overt Object Shift in Japanese |
| | 宮本陽一 (大阪大学) | On Haig/Kuroda's Generalization |
| | 宮川 繁 (MIT) | Moving to the Edge |

懇親会 18:00～20:00 会場 甲南大学生協レストラン

(会費 一般 4,000円 学生 3,000円)

第2日 6月11日(日)

受付開始 9 : 15 [1号館3階 ホール]

研究発表Ⅲ 10 : 00 ~ 12 : 30

(7. 10:00~10:35 8. 10:35~11:10 9. 11:20~11:55 10. 11:55~12:30)

A会場 [1号館3階 講義室131]

司会 吉村公宏 (奈良教育大学)

7. 中国語ではなぜ“吃了飯？”ではなく“吃飯了？”と挨拶するのか？

—中国語における“了”の文終止問題—

劉 綺紋 (名古屋外国語大学)

8. 中国語の複合移動動詞における目的語の意味的制約

大崎 梓 (神戸大学大学院)

司会 田窪行則 (京都大学)

9. 韓国語の「V-*eo/a-beorida*」文、「V-*go-malda*」文と「Vてしまう」文の意味解釈と統語構造
朴 壩一 (茨城大学非常勤)

10. Complex Motion Predicates and the Pre-verbal Negative *an* in Korean

和田 学 (山口大学)

B会場 [1号館3階 講義室132]

司会 益岡隆志 (神戸市外国語大学)

7. いわゆる「主要部内在型関係節」の認知言語学的分析

—メトニミーの下位区分と意味の二重構造から—

山本幸一 (名古屋大学大学院)

8. 語のカテゴリーとプロトタイプの実験を用いた検証：「流れる」を例として

鈴木幸平 (神戸大学大学院)

司会 東森 勲 (龍谷大学)

9. 日本語使役移動表現における「起点」・「着点」表現の認知的非対称性

石橋美由紀 (Laboratoire Dynamique du Langage CNRS / Université Lumière Lyon2)

10. 言語に現れる非対称性：*up* と *down* を例にして

大谷直輝 (京都大学大学院)

C会場 [1号館3階 講義室133]

司会 田中裕幸 (関西学院大学)

7. A Unified Analysis of Four Types of Focus Movement in English

三村敬之 (東北大学大学院)

8. The Enhancement/Repression of Phasehood

内芝慎也

司会 岸本秀樹 (神戸大学)

9. On Raising and Subject Control Constructions

石川弓子 (大阪大学大学院)

10. A Comparative Syntactic Study on the Acquisition of Relative Clauses

原田かづ子 (金城学院大学) [招聘]

研究発表Ⅳ 14:00～15:45

(11. 14:00～14:35 12. 14:35～15:10 13. 15:10～15:45)

A会場 [1号館3階 講義室131]

司会 金水 敏 (大阪大学)

11. 連体修飾節内における時制形式
福原香織 (大阪外国語大学大学院)
12. 日本語数量詞名詞的用法の位置と意味
岩田一成 (大阪大学大学院)
13. 日本語の機能後置詞「に」に対する提言
井上聖子 (神戸松蔭女子学院大学大学院)

B会場 [1号館3階 講義室132]

司会 杉本孝司 (大阪外国語大学)

11. 英語不定名詞句の特定性と広い作用域解釈
森 香奈絵 (大阪経済大学他非常勤)
12. 英語における A-N 構文にみられる意味的特徴について
金澤俊吾 (岩手県立大学宮古短期大学部)
13. 原日本語の母音体系
John Whitman (Cornell University) & Bjarke Frellesvig (Oxford University) [招聘]

C会場 [1号館3階 講義室133]

司会 小野尚之 (東北大学)

11. 項構造形成と Manner-Mean Component —Instrument/Locative 中間構文の観点から—
関 敬一郎 (大阪経済大学非常勤)
12. ハンガリー語動詞接頭辞と語形成
江口清子 (神戸大学大学院)
13. 日本語とベンガル語における他称詞の対照研究：親族に関する他称詞を中心に
UDDIN, MD.MONIR (大阪外国語大学大学院)

招待講演 16:00～17:30 [1号館3階 講義室132]

「チンパンジーの認知発達」

司会 龍城正明 (同志社大学)
講師 松沢哲郎 (京都大学霊長類研究所)

閉会の辞 17:30 関西言語学会副会長 西光義弘